

令和5年 **7**月の**優しさ**通信

目次

- (1)  400万人の「介護難民」 支え手 120万人不足
- (2)  増えても遠い保育所 問われる最適配置
- (4)  通園バス、安全装置 55% 置き去り防止、地域で差
- (5)  「老老介護」で市区町村調査 「家族も支援必要」 77%

7月の福祉用具－福祉住宅改修の基礎知識 段差の解消（段差を小さくする）

- (1)  **400万人の「介護難民」 支え手 120万人不足**

老々家族介護、AI・ロボ・外国人が頼み

- *日本では85歳以上の高齢者のうち6割は介護が必要と認定されています。
 - *2050年度に介護保険で「要介護」か「要支援」となる人は941万人と、2020年度から4割近く増えます。
 - *「介護職員」は302万人必要ですが、今の就業構造を前提にすると6割の180万人しか確保できません。
 - *「要介護2」以上が5割を占めます。
 - *要支援を中心に4割程度、400万人近くはケアを受けられないでしょう。
 - *2040年度の介護費用は25.8兆円に。
 - *特別養護老人ホームは、2022年時点で25万人以上が申し込んでも入所できません。
 - *2019年時点でも、75歳以上を同居して介護している人の33%は75歳以上。
 - *仕事をしながら介護をする「ビジネスケアラー」は、2030年時点で318万人。
 - *就寝状況などの見守りセンサーを全ての入所者で導入すると、職員の業務時間が26.2%減り、対応できる利用者数が1.3倍に（厚生労働省研究）。
 - *高齢者施設でのセンサーの導入は3割。
 - *2056年の1億人社会には、65~74歳が1276万人。
 - *高齢者も支える側に回らなければ、乗り切れません。
- (2023年6月19日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(2) 増えても遠い保育所 問われる最適配置

東京、大阪、ゼロ地帯 3割

- *保育所に入りたくても入れない待機児童は、2022年に全国で2944人。
- *4年連続で過去最少を更新。
- *希望する施設を利用できないために諦めて育児休業を延長するといったケースまで含めた「隠れ待機児童」はなお、約6.1万人。
- *東京23区は500M四方に50人以上の未就学児が住む地域の25%で保育施設がゼロ。
- *大阪市で32%、名古屋市で40%、横浜市は43%。
- *東京23区は施設があっても定員が子供の数の3割以下の地域も11%あります。
- *政府は少子化対策として、働いていなくても保育施設を使える制度の創設を打ち出しました。

(2023年6月25日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3) 通園バス、安全装置55% 置き去り防止、地域で差

- *通園バスへの取り付けが義務付けられた安全装置について、6月末時点の設置率は55.1%。*石川県や山口県で77%に達したのに対し、滋賀県は20%、大阪府は36%。
- *装置はエンジン停止後にブザーが鳴り、車両後部のボタンを押して止めるというといった仕組み。*人の動きを検知し、警報音を鳴らす装置も。
- *政府が導入費用を補助しています。

(2023年6月28日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(4) 「老老介護」で市区町村調査 「家族も支援必要」77%

- *家庭内で高齢者が高齢者をケアする「老老介護」に関し、市区町村の約77.3%が「介護する家族自身も認知症などで支援が必要」と感じています。
- *老老介護は増加傾向。
- *介護する側、受ける側のいずれも認知症の「認認介護」も問題となっています。

(2023年5月28日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



7月の福祉用具－福祉住宅改修の基礎知識

段差の解消（段差を小さくする）

☆和洋室の段差を解消（小さくする）

* 畳の厚さの関係で、和室は洋室よりも高くなっている。

* 段差部分にすりつけ板を取り付けたりする改修方法がよく行われる。

☆建具の敷居段差を解消（小さくする）

* 敷居の段差は 5mm 以下とする。

* 5mm を超える段差は、歩行困難な高齢者はつまずき転倒する危険性がある。

* 車いすでの移動の場合、車輪がぶれて恐怖感を与える。

* 引戸の敷居は、床面に V 溝レール（フラットレール）を埋め込む工事が通常行われる。

（参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキスト・介護用品カタログより）

